



## 2021年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月9日

上場会社名 株式会社 竹内製作所 上場取引所 東  
 コード番号 6432 URL <https://www.takeuchi-mfg.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹内 敏也  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 小林 修 TEL 0268-81-1200  
 四半期報告書提出予定日 2020年10月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年2月期第2四半期の連結業績（2020年3月1日～2020年8月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	53,177	△14.9	6,814	△13.2	6,758	△10.0	4,916	△10.3
2020年2月期第2四半期	62,461	4.4	7,847	△14.6	7,510	△19.6	5,483	△20.8

(注) 包括利益 2021年2月期第2四半期 4,255百万円 (△8.5%) 2020年2月期第2四半期 4,649百万円 (△26.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	103.11	—
2020年2月期第2四半期	114.98	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第2四半期	111,243	85,552	76.9
2020年2月期	108,982	83,683	76.8

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 85,552百万円 2020年2月期 83,683百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2021年2月期	—	0.00	—	—	—
2021年2月期（予想）	—	—	—	48.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

詳細は、本日（2020年10月9日）公表の「2021年2月期 配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 2021年2月期の連結業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	101,900	△12.1	11,100	△12.3	11,000	△11.3	8,000	△12.0	167.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期2Q	48,999,000株	2020年2月期	48,999,000株
② 期末自己株式数	2021年2月期2Q	1,312,798株	2020年2月期	1,312,798株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期2Q	47,686,202株	2020年2月期2Q	47,694,902株

(注) 期末自己株式には、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式（2020年2月期 58,940株 2021年2月期2Q 58,940株）を自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 業績予想について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) 四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法

当社は、2020年10月23日に機関投資家及び証券アナリスト向け四半期決算説明音声ライブ配信を行う予定です。なお、当日使用する四半期決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループの主力市場である米国及び欧州の当第2四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年8月31日まで）の経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により、企業の投資マインドは全世界的に著しく縮小し、外出規制と雇用環境の悪化による個人消費の急速な冷え込みとともに、住宅需要も一気に落ち込みました。5月に入るとロックダウンの解除など、各国の状況に違いはありますが、欧米先進諸国は段階的な経済活動の再開に動き始めており、景気悪化はいったん底を打ちました。しかしながら、新型コロナウイルスの脅威は依然として継続しており、経済活動の再開と感染防止の両立に向け、各国政府は非常に難しい舵取りを迫られております。また、コロナ禍を巡る根深い米中対立、米国の大統領選挙を控えた政治経済の停滞、EUと英国の通商交渉の難航など不安材料も存在しており、経済の正常化には相応の時間を要するものと考えられます。

このような環境下にあっても、2020年1月には油圧ショベル「TB370」を、2020年2月にはクローラーキャリア「TCR50-2」を、2020年4月にはクローラーローダー「TL8R-2」を、2020年8月にはミニショベル「TB257FR」を市場投入しました。しかし、ロックダウンや外出規制により欧米各国の工事は停滞し、当社グループ、ディストリビューター及びディーラーの営業活動は大きく制限されました。欧米各国での経済活動の再開とともに、当社製品の需要はコロナ禍前の水準に向けて回復しつつも、米国、欧州及び当社グループ全体の販売台数は、前年同期に比べ減少しました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は531億7千7百万円（前年同期比14.9%減）となりました。利益面につきましては、製品販売価格の値上げ、出荷台数の減少に伴う運搬費の減少、製品保証引当金繰入額の減少等の増益要因はあったものの、売上高が減少したこと、及び主要通貨が総じて円高に推移したこと等により、営業利益は68億1千4百万円（同13.2%減）となり、経常利益は67億5千8百万円（同10.0%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金費用を18億4千1百万円計上したことにより、49億1千6百万円（同10.3%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

## (日本)

日本セグメントは、売上高のほとんどが欧州ディストリビューター向けの販売で占められております。2020年1月に市場投入した油圧ショベルの新製品「TB370」が業績に貢献したものの、新型コロナウイルスの影響により欧州ディストリビューター向けの販売台数が減少し、売上高は220億2千1百万円（前年同期比8.1%減）となりました。セグメント利益は、欧州ディストリビューター向けの値上げや出荷台数の減少に伴う運搬費の減少があったものの、売上高が減少したこと及び主要通貨が総じて円高に推移したこと等により、37億4千万円（同28.7%減）となりました。

## (米国)

新型コロナウイルスの影響で販売台数が減少したこと等により、売上高は237億6千5百万円（前年同期比13.9%減）となりました。セグメント利益は、製品販売価格の値上げ、プロダクトミックスの変化、及び日本セグメントからの製品仕入価格の値下げ等により21億4百万円（同23.0%増）となりました。

## (英国)

EU離脱後の通商交渉の不透明感に加えて、新型コロナウイルスによるロックダウンの影響が重なり、販売台数は大きく減少しました。また、円高によりポンド建て売上高が為替の影響を受け、売上高は42億7千万円（前年同期比39.9%減）となりました。セグメント利益は、製品販売価格の値上げ、日本セグメントからの製品仕入価格の値下げ等はあったものの、売上高が減少したことにより3億3千6百万円（同20.7%減）となりました。

## (フランス)

フランスでの全国的なストライキの影響と、新型コロナウイルスによるロックダウンの影響により、販売台数は大きく減少しました。この結果、売上高は30億9千6百万円（前年同期比14.3%減）となりました。セグメント利益は、日本セグメントからの製品仕入価格の値下げ等により1億9千5百万円（同42.8%増）となりました。

## (中国)

新型コロナウイルスの影響により減産を余儀なくされたため固定費率が上昇したこと、及びたな卸資産の評価損を計上したこと等により、セグメント利益を圧迫しました。この結果、売上高は2千4百万円（前年同期比85.1%減）となり、セグメント損失は1億5千3百万円（前年同期は2千1百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ22億6千万円増加し、1,112億4千3百万円となりました。これは主に、法人税等の納付、配当金の支払、運転資金及びたな卸資産の増加等により現金及び預金が47億3百万円、流動資産のその他が8億1千7百万円それぞれ減少しましたが、受取手形及び売掛金が57億3千4百万円、たな卸資産が23億3千9百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ3億9千2百万円増加し、256億9千万円となりました。これは主に、流動負債のその他が3億1千万円、製品保証引当金が1億9千4百万円それぞれ減少しましたが、支払手形及び買掛金が6億3千3百万円、未払法人税等が2億8千8百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ18億6千8百万円増加し、855億5千2百万円となりました。これは主に、配当金の支払により23億8千7百万円、為替換算調整勘定が6億5千4百万円それぞれ減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が49億1千6百万円増加したこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ47億2百万円減少し、289億9百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は13億6千1百万円（前年同期は21億6千6百万円の獲得）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益67億5千8百万円、仕入債務の増加額11億4千1百万円の収入がありましたが、売上債権の増加額60億3千8百万円、たな卸資産の増加額29億6千8百万円等の支出があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は10億3百万円（前年同期比10億5千1百万円減少）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出9億1千1百万円、及び無形固定資産の取得による支出1億5千4百万円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は23億7千7百万円（前年同期比2億1千6百万円増加）となりました。

これは主に、配当金の支払額23億7千6百万円等の支出があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年10月2日付の「2021年2月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、本業績予想における第3四半期以降の為替レートは、1米ドル=104円、1英ポンド=135円、1ユーロ=124円、1人民元=15.40円を前提としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	34,220	29,517
受取手形及び売掛金	25,365	31,099
商品及び製品	23,471	27,170
仕掛品	1,415	1,008
原材料及び貯蔵品	5,656	4,704
その他	3,353	2,535
貸倒引当金	△1,099	△1,035
流動資産合計	92,383	95,000
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,487	6,581
機械装置及び運搬具(純額)	1,911	1,897
土地	2,077	2,044
その他(純額)	1,220	1,189
有形固定資産合計	11,697	11,712
無形固定資産	621	695
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,875	1,514
その他	2,425	2,341
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	4,279	3,834
固定資産合計	16,599	16,242
資産合計	108,982	111,243

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,848	20,482
未払法人税等	1,030	1,318
賞与引当金	334	313
製品保証引当金	1,736	1,542
その他	1,889	1,579
流動負債合計	24,838	25,235
固定負債		
役員株式給付引当金	41	46
退職給付に係る負債	67	52
その他	351	355
固定負債合計	459	454
負債合計	25,298	25,690
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,632	3,632
資本剰余金	3,631	3,631
利益剰余金	78,248	80,778
自己株式	△1,985	△1,985
株主資本合計	83,528	86,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7	△12
為替換算調整勘定	204	△450
退職給付に係る調整累計額	△41	△42
その他の包括利益累計額合計	155	△505
純資産合計	83,683	85,552
負債純資産合計	108,982	111,243

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
売上高	62,461	53,177
売上原価	49,668	41,997
売上総利益	12,793	11,180
販売費及び一般管理費		
運搬費	1,867	1,512
製品保証引当金繰入額	637	382
貸倒引当金繰入額	5	△3
役員報酬	101	132
給料及び手当	818	839
賞与引当金繰入額	87	90
退職給付費用	18	23
役員株式給付引当金繰入額	6	5
その他	1,403	1,384
販売費及び一般管理費合計	4,946	4,366
営業利益	7,847	6,814
営業外収益		
受取利息	45	44
受取保険金	1	100
その他	35	82
営業外収益合計	82	227
営業外費用		
固定資産除却損	37	16
為替差損	379	247
その他	1	20
営業外費用合計	419	283
経常利益	7,510	6,758
税金等調整前四半期純利益	7,510	6,758
法人税、住民税及び事業税	1,949	1,490
法人税等調整額	77	350
法人税等合計	2,026	1,841
四半期純利益	5,483	4,916
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,483	4,916



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	5,483	4,916
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	△5
為替換算調整勘定	△700	△654
退職給付に係る調整額	△127	△0
その他の包括利益合計	△834	△661
四半期包括利益	4,649	4,255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,649	4,255
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,510	6,758
減価償却費	666	757
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5	△33
賞与引当金の増減額 (△は減少)	71	△20
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	244	△180
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△16	13
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	6	5
受取利息及び受取配当金	△47	△46
為替差損益 (△は益)	△235	△175
固定資産売却損益 (△は益)	4	3
固定資産除却損	32	12
売上債権の増減額 (△は増加)	△10,145	△6,038
たな卸資産の増減額 (△は増加)	4,789	△2,968
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,904	1,141
その他の資産の増減額 (△は増加)	△885	696
その他の負債の増減額 (△は減少)	479	△232
その他	△15	△9
小計	4,371	△316
利息及び配当金の受取額	49	46
法人税等の支払額	△2,254	△1,091
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,166	△1,361
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	0	0
有形固定資産の取得による支出	△1,636	△911
有形固定資産の売却による収入	9	9
無形固定資産の取得による支出	△139	△154
無形固定資産の売却による収入	0	—
投資有価証券の取得による支出	△300	—
その他	9	51
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,055	△1,003
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△20	—
配当金の支払額	△2,137	△2,376
リース債務の返済による支出	△3	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,161	△2,377
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	41
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,042	△4,702
現金及び現金同等物の期首残高	34,464	33,612
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,422	28,909

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年8月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	英国	フランス	中国			
売上高								
外部顧客への 売上高	23,969	27,613	7,102	3,614	161	62,461	—	62,461
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	30,672	—	10	4	874	31,561	△31,561	—
計	54,642	27,613	7,112	3,619	1,035	94,023	△31,561	62,461
セグメント 利益	5,243	1,710	424	137	21	7,536	310	7,847

(注) 1. セグメント利益の調整額310百万円には、セグメント間取引消去916百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△605百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年8月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	英国	フランス	中国			
売上高								
外部顧客への 売上高	22,021	23,765	4,270	3,096	24	53,177	—	53,177
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	23,202	—	137	3	846	24,189	△24,189	—
計	45,223	23,765	4,408	3,099	870	77,367	△24,189	53,177
セグメント 利益又は損失 (△)	3,740	2,104	336	195	△153	6,223	591	6,814

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額591百万円には、セグメント間取引消去1,178百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△587百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。